

I C T学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立黒石養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他()		
	単元(題材)名	数学		
	単元(題材)の目標	図形の学習		
学習集団と実	学部・学年・人数	中学	部	1, 2 年 4 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	計算に関しては、小1前半相応の繰り上がりのない1位数の加算ができる生徒から、部分的には小3前半相応に達する生徒まで実態の幅が広い。		
I C T活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	こども脳機能バランサー		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 情意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input checked="" type="checkbox"/> 実態把握支援		
I C T活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット機器及びゲーム的な要素のあるアプリを使うことで、図形の学習について、興味をもつことができる。 ・集団での指示理解が難しい生徒も直感的に理解し、取り組むことができる。 ・簡易的な実態把握としても使うことができる。 			
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・課題がうまくできないときに、荒い言葉を吐く、机を叩く、課題をやめてしまう等の行動が見られる生徒も、達成率に応じてスタンプが加算されるため、視覚的に達成状況が分かり、課題となる行動が少なくなった。成績が振るわない時に、文句を言いながらも、継続して取り組む様子が見られた。全員がイヤホンを付けて利用し、声が大きいときは言葉掛けをしている。 ・集団での指示理解に課題のある生徒も直感的に取り組めるため、意欲的に取り組み続けることができた。一人で課題に取り組む時間が長くなり、取り組める課題も増えた。 ・達成率を確認することで次の課題を設定しやすい。取り組む回数の少ない項目にも、言葉掛けして、取り組むよう指導している。 			